

川七郎ふんを
たれうをて
とふり
入ぬ
い

ひよ
たん
鯨

≡140字物語

ツイノベ and ショート

セレクト再掲載

おもしろ
すべった!



©ヨコヤマ



ヤフーブログからセレクト転載、スナップ印象派、ツイッターノベル、おもしろ印象派などジャンルいろいろ、オリジナル写真も多数掲載して、よみやすいe-hon（閲覧無料）です。ダウンロードもOK！URLからアクセスしてぜひ。

Puboo ブログ e-hon 『ひょうたん鯨』（13Titleから増殖中〜♪♪）

<http://p.booklog.jp/users/axros03>

：

下記は閲覧ページの一部です、ダウンロードしてお暇なときにお読みください。

≒140字物語 ひょうたん鯨

<http://p.booklog.jp/book/118396/read>

ひょうたん鯨：1

<http://p.booklog.jp/book/19047/read>

ひょうたん鯨：2

<http://p.booklog.jp/book/34561/read>

おもしろ印象派

デジ撮！オリジナル「新・おもしろ画像」と「印象記」ア・ラ・カルト。珈琲タイムに、見て読んでニュートラルなひとときを、ぜひ！

<http://p.booklog.jp/book/19408/read>

スナップ印象派：1

<http://p.booklog.jp/book/61780/read>



讚岐発。『毎日常みさん』の頓珍漢な日常を切り取る、不連続Twitter Novel。

毎日常みさん ①

:

その1_女中編

朝のかみさん。洗面所の小窓から、表をうろつくノラ猫を眺めて、

「うわ、また腹ボテ*になっとんちゃうん？」 *孕（はら）んでいる

「え、なんやて!？」と、ベッドに腰かけて自分のお腹を見下ろす夫。

:

ようやく起きだした夫、ダイニングで朝のひとつき。

「コーヒーもう一杯」「花粉かいな、くしゃみや、ティ〜ッシュ!」

「耳かきどこや、靴下穴あいてるわ!」「新聞!なに休刊日てか」

立て続けにかみさんに用事を言いつけていると、

「まるで私って女中やんか!他の用事がでけへんわ!」と大声で不満を。

で、『女中』ってどういう言葉なんだろう、『女の中の女』じゃないよね。

名前が菊だと女中の菊、端折って除虫菊・・・といえは蚊取り線香か、

ふむふむと、コーヒーを啜りながら独りごちる夫。

:

その2_お使い編

午後、かみさんが買い物に。

こんやの酒の肴（さかな）に『うるめいわし』を頼まれた。

「えっ？いわし、うるめ、それって干物なん？あそ、目刺しなんや」

「よりめ、たれめ、やにめ、とりめ・・・」などと呟きながら出かけた。

「ちゃんと覚えたんかいな、落語の『平林（ひらばやし）』とちゃうんやで」

：

その3_モテキ編

で、スーパーまでやってきたかみさん、

近所の仲よしおばさんとバッタリ会って立ち話。

「まあ奥さん、いつ見ても若いなあ、昔とちっとも変わってへんわ」

「なんかしてるん、エステとか」「そんなもん、なんもしてへんがな」

「ほんまに昔はお肌ぶるんぶるん、そりゃあもてたわで！」と、

財布から色あせた写真を出して、

「これがそん時の写真や、懐かしいなあこの若さ」

「・・・あ、あかちゃん!？」

「そう、この頃がモテ期ピークやったんやなあ！」

：

その4_北まくら編

長話の末に、ようやく干物コーナーにたどりついたかみさん。

『うるめいわし』を探していてふと、

となりの鮮魚ケースに並べられているお魚に目がいった。

「あのアジ、駄目や！北まくらで寝とるで、縁起悪いなあ！」

とその時、お店の壁の“大鏡”に映った自分の姿を見て、

「うわっいかん、ワタシ“左前”にきもの着てたわ！」と、あわてて家に帰った。

・・・ダンナさんの酒の肴（さかな）はどうなったの。

:

その5_テレビニュース編

昼3時のワイドショー、

関東の某公園で『セアカゴケグモ』が目撃されたというニュース。

それを見たかみさん

「えっチュランタラかいな、かなわんで毒蜘蛛やろ！」と第一声、

それちょっとスペルが違うんやないか・・・ですぐさま夫、辞書を引いた。

漢字にすると『背垢後家蜘蛛』だった。

「なんや汚い後家さんみたいやな」って、ちょっと違うか。

事故にはならなかったが、排水溝とか公園の草むらとか、

隠れるところはいっぱいあるからそのうち、

かさかさと言い出てきて・・・うわっ！

:

その6_一尾買い

かみさん、向かいのおばさんといつもの立ち話。

「きのう、スーパーで『鯛のアラと切り身』を買ってな、

吸い物と刺身盛りを食卓にだしたんや」

「そしたらな、『おいっ！一匹買いしたんか！』いうて、

ダンナがびっくりしとったわ」

:

その7_卵の特売

洗い物の途中、かみさんに買い物を頼まれた夫、

エプロンしたまま出かけて、スーパーの売り場をうろうろ。

お客さんに店の人に間違えられて

「店員さん、卵売り場はどこかしら？」と訊ねられた。

「はい、卵でしたら向かいのスーパーで特売してますよ」って。

:

その8_道路工事

家の前で道路工事が始まった。

作業員が頭を下げて謝っている、お決まりのイラスト看板が立てられた。

それを見たかみさん、近所のおばさんたちと寄り合って井戸端会議。

「イヤやわあ！最初から頭下げてて・・・また何かやらかす気やで」

「先だっては水道管ぶち破ったなあ」「ガス管やったら怖いやんか」

道の向こうで、ミニシャベルが今掘った穴に落ちてあえいでいた。

：

その9_ばばか篇

夕食後の団らん、テレビから歌謡番組が流れていた。

メロディに合わせて両手を器用に振る一歳の孫娘を見てかみさん。

「音感がええやなあこの娘、天才やろか！

大きくなったらピアニストにしようか？それとも作曲家、歌手もええなあ」

「そうになったら歌舞伎座でリサイタルやで、うわっどないしょ！」

「かあさん、そういうの、おしめが取れてから考えよっか」と娘。

「そ、そやな」

：

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



讃岐発。『毎日常みさん』の頓珍漢な日常と会話を切り取る、Twitter Novel。

毎日常みさん ②

:

その10_ズンドウ編

たまの休日、趣味でクッキングを愉しむ夫が、

かみさんの腰を抱き寄せて歌っている。

～ずん、ずん、ずんどこ～（小林旭のずんどこ節）～♪♪

「そうだこの感じやんか」「なにがな」

「いやなに、こんぐらいの大きさの寸胴（ずんどう）鍋が欲しいんや」

「・・・!？」

:

その11_ヘアカット編

夕ご飯のテーブルで向かい合うかみさん。

ヘアサロンで髪をカットして来たのに、夫は何も言ってくれない。

シビレを切らせてかみさんの方から口を開いた。

「鈍感ちゃう、気づかへんの？思い切ってショートにしたんやで」

「いや、気付いてたけど言うの気が引けてなあ」

「・・・！」

かみさん、あれから何日も夫と口を聞いていない。

夫の気遣いが仇になったのか、そこんとこどうなのかなあ。

：

その12_ナイトメア編

かみさん、ナイトキャップを聞こし召して頬ほんのりと上気。

こんやは月齢十五日、

窓辺から差し込む月明かりが尚更に胸騒ぎをかきたてる。

ベッドサイドの滋養強精『養命酒』は、ほぼカラッポ。

口からは紅い吐息をもらして

「ねえ、ぐふふっ♡♡」「うっわあああ〜！」

突然、がばっと目覚めた夫、胸にびっしょりと汗をかいていた。

木の芽どきに見がちな、ナイトメアにうなされていた。

「夢やったあ、ほんまに恐かったやないか、この阿呆たれめ！」

「こんな時間になんやの、突然起きだして、眠いがな」とかみさん。

：

その13_和洋折衷編

夕ご飯は外食。

「今夜は『和洋折衷』の店がええな」と、かみさん。

瞬間、往年の国際俳優『早川雪舟』の名前を脳裏に過ぎらせる夫。

さらに、せっしゅう、せっちゅうと云うと、八甲田山『死の雪中行軍』、

涙でネズミを描いたという禅僧『雪舟』伝説が思い浮かべる。

それはさておき『和洋折衷』だと割烹もしくは居酒屋、

いやバイキングも候補にあげられる！などと、夫と娘はウキウキ。

結局、かみさんの鶴の一声で『お好み焼き』と相成った・・・!?

「お好み焼きのどこが『和洋折衷』やねん！」と夫。

「何言うとするの、これ和食ちゃうやろがな！」負けずにかみさん。

「けど洋食でもないで、なあ、さあどっちやねんて！」と娘。

:

その14_ 𪛗と嬬編

リビングでソファに仰向けに寝そべてかみさん。

両鼻を詰まらせて執拗なピストン𪛗（いびき）をかいている。

ポカンとひらいた口を眺めていてふと

「𪛗と嬬（かかあ）、よく似た漢字やなあ」と。

「あ、いや、それだけのことやから他意はないからね、決して」

誰に言うとはなく謝っている夫、

悲しい習性だね、怯（おび）え性とでもいうのか。

：

その15_挫折編

お昼のニュースを観ていたかみさん、

「うわっ、イタリアの客船が“挫折”したんやて！」

「ちゃうやろ、それ。挫折してどうするんや、“座礁”やろ」と夫。

ちょうどそこへ近所に嫁いでいる長女から電話

「もうすぐ“ぎょうらく”のシーズンや。どっか日帰り温泉でも行かへん？」

「なんやこの娘は、それ言うなら“こうらく”やろ、行楽」

母娘の会話を聞いていた夫、飲んでいたコーヒーを吹きだした。

：

その16_もち肌編

5歳になったばかりの孫娘はかみさん好き、いつもくっついている。

その日もリビングで昼メロを観ているかみさんに

「もち肌やね」「嬉しいこと言うてくれるわ、この娘」

「けど、もち肌ってどこで覚えたん？」

「テレビでや。ほんまにぷよんぷよんや、ほらここ」

「どこ突っついてんの、そこお腹やんか」

と、とつぜん餅が食べたくなったかみさん、

正月に搗（つ）いたばかりの餅をオーブントースターへ。

：

その17_鬼の霍乱編

連日の猛暑で体調をくずして、

ソファで横になっているかみさんを心配して、5歳の孫娘。

「じいちゃんが、怖そうな病気の名前言うとしたけど大丈夫な？」

「なあばあちゃん、『オニのカクラン』ってどんな病気なん？」

それを聞いたかみさん、のっそりと起き上がってパソコン検索、

画面の文字をぶつぶつと読んでいるかと思ったら、

突然、大声を張り上げて夫を呼んだ。

「あんたなに考えてんの、ほんまにあたしシンドイやで！（怒）」

：

その18_フカ（鮫）ヒレ編

かみさん、近所のおばさん連中といつもの立ち話。

「うちの旦那いうたら、“フカヒレ”みたいな大酒飲みやから」

「フカヒレ・・・!？」

「フカヒレって、中華料理のあれかいな？」

「あんた、それやったら“フカ”みたいに飲むって言うんやで」

「フカってごっつい大ぐちやから、大酒飲みに喩えられたんや」

「ほんまかいな大口かいな、あっははは～♪」と、

高らかに大ぐちを開けて笑うかみさん。

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

料理の基本は【さしすせそ】 ぁ行



料理の基本は【さしすせそ】 其の壹『ぁ』

阿保弟子っ！なにさらしとんや！それは、いの一番、

違うそっちはハイミーじゃろ！あっちのズルチン持ってこいや！

「それって、使用禁止の合成甘味料！？」

ということで、阿呆っ！の『ぁ』。 ...To be continued 続かないかも

:

料理の基本は【さしすせそ】 其の貳『い』

居候（いそうろう）三杯目をそっと出して、

そっと出せばいいというものでもないわ！

もう10杯目、お櫃（ひつ）カラッポよ。

ご飯炊くからお米洗って、それより薪割りが先よ！

ということで居候の『い』。 ...To be continued 続かないかも

:

料理の基本は【さしすせそ】 其の参『う』

ううっ！なんやこの味、

冷や奴にウスターかけやがったな、阿呆弟子！

いまから水洗いしてどーすんや、お前が食べるんや、なに？要らんってか！

賄（まかな）い食わんと立っとれ！ ということで、ううっの『う』。

...To be continued 続かないかも

:

料理の基本は【さしすせそ】其の四『え』

客席から「えゝ！」とわななく声。

厨房で聞いた神田川師、「なに！『え』に濁点を付けるほど不味いの？」と。

返ってきた柳川鍋を見て絶句、どじょうが元気に泳いでいた。

ということで濁点付きの『え』。 ...To be continued 続かないかも

:

料理の基本は【さしすせそ】其の五『お』

お代官さま、年貢どころか飢饉で食べるものも御座いません！

お腰に提げたキビ団子、一つおらにもおくれえな！

・・・飢饉に強いキビ（黍）からつくる吉備団子、やがて後世名物に。

ということでお腰の『お』。 ...To be continued 続かないかも

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



料理の基本は【さしすせそ】其の六『か』

勝手知ったる他人んちの台所へお勝手から忍び込み、の『か』。

・・・帰宅してきた娘と母。

「お母さん、晩ご飯できてるわ、ご馳走だよ！」

「ひゃ！台所おぢさんに這入られた！」

「・・・？」

...To be continued 続かないかも

:

料理の基本は【さしすせそ】其の七『き』

週末のデートは夜景が美しい丘。

「ねえランチに何を食べたか、当ててみない？」と、眼を閉じて迫る彼女、

重ね合う唇。「このスパイスは！」

・・・ということでキスの味でプロファイリング、の『き』。

...To be continued 続かないかも

:

料理の基本は【さしすせそ】其の八『く』

新世界の串カツ屋台。

「ソースの二度づけはあきまへんで！」

「足もとに串を放（ほお）ったって、ちゃんと数えてるさかいな！」と、

口喧しい串カツ屋のおばちゃん。ということで串カツの『く』。

...To be continued 続かないかも

:

料理の基本は【さしすせそ】其の九『け』

「お味はいかが？」と妻が訊く。

ぼこっ、ぼこ・・・！と泡立つ煮込み鍋。

お皿から未だかつて嗅いだことのないニオイが漂う。

ひとくち食べて夫、「けったいや！」と。

ということで、けったい！の『け』。

...To be continued 続かないかも

:

料理の基本は【さしすせそ】其の十『こ』

すれ違う街の人たちが笑顔で「コマンタレブー？」と声をかけてくる。

わたしは河向こうのビストロシェフ、

腕は一流だが虫の居所が悪い日は店を開けない。

だからみんなが「ご機嫌いかが？」のお伺いを。 ということで挨拶の『コ』。

...To be continued 続かないかも

P h o t o はネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



料理の基本は【さしすせそ】さ行

料理の基本は【さしすせそ】其の十一『さ』

「さあお昼よ、手洗っといで！」

「おかあさん、お昼ご飯はなあに？」

「おみそ汁よ」「おかずは？」

「豆腐、じゃが芋にねぎでしょ」とみそ汁の具を並べる母。

ということで「さあお昼よ」の『さ』。

...To be continued 続かないかも

:

料理の基本は【さしすせそ】其の十二『し』

たまには子どもにお肉をと、

握りしめた食費をパチンコでスってしまったお母さん。

「焼肉じゃなかったの、母さん！」と子どもに責められて、

パチンコ撲滅運動を始めた。 ということで「食費」の『し』。

...To be continued 続かないかも

:

料理の基本は【さしすせそ】其の十三『す』

御前試合、ルールは寸どめだが両者掛け声ばかりで一進一退！

見届け人たちが退屈して世間話を始める始末。

そこへ殿の一声「ティーブレイクじゃ、しばし休憩にせよ！」

ということで『寸どめ』の『す』。 ...To be continued 続かないかも

:

料理の基本は【さしすせそ】其の十四『せ』

「砂糖、塩、酢まではいいわ、けど『せ』って何よ!？」と

レミ先生が怒っている。

「しょう油が訛ると『せうゆ』になっちゃうの」と神田川師。

「じゃ『そ』って?」「・・・」

で『せうゆ』の『せ』。 ...To be continued 続かないかも

:

料理の基本は【さしすせそ】其の十五『そ』

「何よ『そ』って、まさかソースじゃないわよね!？」と

レミ先生が切れそうだ。

「いや、おみその『そ』ということで、いかがでしょ」と神田川師。

「おみそれしちゃうわね!」「ははは(汗)」

で『おみそ』の『そ』。 ...To be continued 続かないかも

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



料理の基本は【さしすせそ】其の十六『た』

「たんたん狸の～♪」と歌えば何を作るかお分かり？

違うわ、たぬき汁じゃなくて袋煮よ、

すし揚げをキャン玉袋に見立てて具を詰めて煮付けるのよ。

ということでたんたん狸の『た』。 ...To be continued 続かないかも

:

料理の基本は【さしすせそ】其の十七『ち』

料理は科学、愛情が隠し味、

レシピはちゃんと守ってね！が口癖のレミ先生。

家ではそんなことを忘れて好みのさじ加減、

カロリー過多で家族みんな成人病予備軍に！

ということで、ちゃんとの『ち』。 ...To be continued 続かないかも

:

料理の基本は【さしすせそ】其の十八『つ』

レミ先生、つの文字は牛の角文字、恋文のことよ、

きょうは海老の『つのじ』をつくりましょ。

活きのいい海老にね、串をこう通して『つの字』にね、あら逃げちゃダメよ！

ということで、つのじの『つ』。 ...To be continued 続かないかも

：

料理の基本は【さしすせそ】其の十九『て』

手塩にかけて育てられたのよ私、キャハッ！と屈託がないレミ先生。

ということでお吸い物で手塩のレッスン。

薄目の味付け、加減は“手塩皿”をお膳に添えて好みでね、ということで、

手塩の『て』。 ...To be continued 続かないかも

：

料理の基本は【さしすせそ】其の二十『と』

角の豆腐やさんの夫婦ったらしょっちゅう喧嘩よ、豆腐を投げつけあって。

でも投げるのは売れ残りばかり。

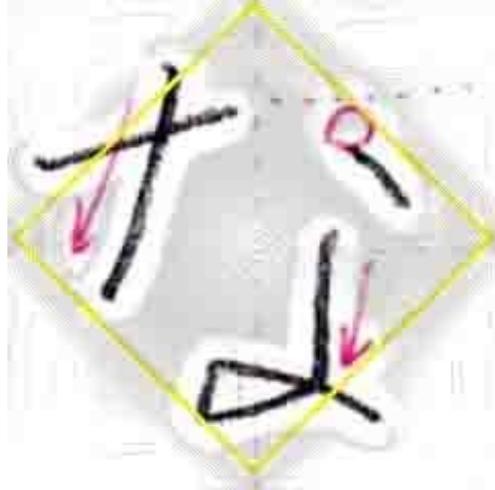
豆腐だけに怪我もなく、よくできた夫婦喧嘩だわね！

ということで、豆腐の『と』。 ...To be continued 続かないかも

：

次回『な行』に、つ・づ・く

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



料理の基本は【さしすせそ】其の二十一『な』

ナマステ〜♪てアンタ！いま何時や思てんの、もう昼やで。

と本日も暇人、横丁のダンナ。

下駄をカラコ口鳴らせて、一番風呂にお出かけ。

風呂あがりにタイ料理で生ビールも、ええやんかさ。

ということで、ナマステの『な』。 ...To be continued 続かないかも

:

料理の基本は【さしすせそ】其の二十二『に』

「結婚生活は忍耐よ、に・ん・たい」と、

あすが結婚式だという娘を諭している母。

「うん分かるわ、お母さんを見てると」と強くうなずく娘。

ちゃぶ台の端っこで週刊アルバイトを読んでいたお父さん、

ぶはっ！とお茶を吹きだした。

ということで、忍耐の『に』。 ...続かないかも

:

料理の基本は【さしすせそ】其の二十三『ぬ』

「こらっ！ぬぼ〜っとしやがって、注文取ってこんかい！」

「へいっ！」と店員さん、せっせと客席へお伺いに。

「限度ちゅうもんがあるやろ、

そないに仰山、一遍に受けて！」と慌てる厨房の連中。

ということで、ぬぼ〜っの『ぬ』。 ...続かないかも

:

料理の基本は【さしすせそ】其の二十四『ね』

近所の後家さんに

「拙（せつ）と懇ろ（ねんごろ）にしませんか」と言い寄るも

「ノルマは週二十一回よ、よろしくって♥️」と

妖しく瞬（めませ）されて及び腰に。

その夜は、女房とお熱く差し向かいで、お酒をね。

ということで、懇ろの『ね』 ...続かないかも

:

料理の基本は【さしすせそ】其の二十五『の』

オンナには食べごろがあるのよ、

ご存じかしら、あなた？と寝室で迫られるオトコ。

そっかな、喉が渴いたな、ビールが飲みごろかなと話を逸らすも、

口移しで飲まされて次第にその気に。

ということで、飲みごろの『の』 ...続かないかも

しばしコンセプトずれ、料理の基本シリーズ。

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。